

UNBARK

Logo Design

Vol.1.0

Logo Proposal by Tsumugi Nakahara, Correlate Design.

We explore the essence behind every mark — the quiet truth, the honest line, and the flexible spirit that shapes how ideas take form.
A good logo is not decoration; it is a companion that runs alongside your brand through the marathon of its life, steady, thoughtful,
and unmistakably true.

UNBARK は、
"言葉にならない想い"を見つけ出し、
映像と言葉で表現する
ブランディングパートナーです

「樹皮を剥ぐ」という意味を込めた UNBARK。
表面的な広告ではなく、
企業やプロダクトの本質を掘り下げて、
伝えるべき物語として
可視化する映像とブランディングを提供します。

- ✓ 謙虚かつ敬意をもって
クライアントと対話すること。
- ✓ 自身では見えにくい
本質の価値を見つけ出す行為
- ✓ 自分たちの表現欲求を押し付けるのではなく
本質をクリエイティブによって代弁する。
- ✓ 表面的な宣伝ではなく、
本質の価値が届くようなブランド体験を提供する
- ✓ 言葉と動画で訴えかけ、
エンドユーザーの感情を想像し、心を動かす。

✓ 誠実さ

ごまかさず、真っ直ぐ、ブレない。
偽りなく向き合うことで、信頼をつくる。

✓ 本質を見抜く

企業やブランドの核となる「芯」をつかむ。
歴史や背景に潜むストーリーを、丁寧に捉える。

✓ 柔和

混ざり合い、寄り添い、溶け合うあたたかさ。
軸の中に“しなやかさ”をあわせ持つ姿勢。

※「誠実＋柔和」の両立こそが、UNBARK の独自性。
誠実だけではつまらないものになってしまい、柔和だけでは曖昧になる。
その2つを共存させることで、唯一無二のユニークな存在になる。

大切にしたいキーワード

UNBARK A 案

Logo Design

01.



02.



03.



04.



この案は、
“UNBARK とブランドが向き合い、
共に作り、支え合う姿勢” を
象徴したかたち。



正方形＝誠実の象徴



菱形＝軸のあるブレない姿勢



丸みのある菱形＝柔和のエッセンスを加えた形



年輪＝ブランドそのもの、歴史・時間



UNBARK と年輪

UNBARK はその年輪の“芯”を読み解く存在であるため、
中心で重なり合う構造になっている。
左右に配置したものは両者が手を取り合うように並び、
「伴走者として同じ方向を見る」という関係性を
最も象徴的に示す構図。

01.



02.



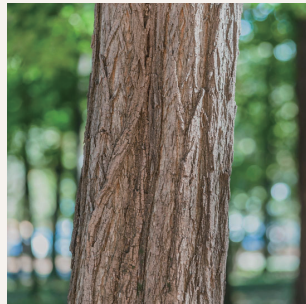
03.



04.



この案は、
「誠実＝まっすぐ」「本質を見抜く＝剥ぐ」
を最もシンプルに、
抽象化して表した提案。



木の幹



樹皮が剥がれる



UNBARK



まっすぐ伸びる縦線＝誠実の姿勢



樹皮を剥ぐ＝ブランドの本質を見抜く



手書きのようなテクスチャ＝柔和のエッセンス

01.



02.



この案は、
正方形 × 正円 × 直線の融合でつくった、
UNBARK が大切にするもので
構成したかたち。



正方形＝誠実の象徴



正円＝ブランドやクライアントを示す



直線＝揺るがない軸や芯、誠実さ



丸み＝柔和のエッセンス



中央の空洞部分
＝見えないもの、中心や軸を捉え本質を見抜く



正円の中心の直線
＝そのものの本質を見抜く、不安定なものを支える

UNBARK

Logo Design

文字部分 (タイポグラフィ) について

UNBARK

UNBARK

UNBARK

一旦イメージを膨らませるために
仮で置いているものになります。

ロゴマーク次第で空気感も変わるかなと
思いますので、

どのかたちにしていくかを決めながら
決定して行けたらと思っております。

UNBARK

Logo Design

END

Logo Proposal by Tsumugi Nakahara, Correlate Design.

We explore the essence behind every mark — the quiet truth, the honest line, and the flexible spirit that shapes how ideas take form.
A good logo is not decoration; it is a companion that runs alongside your brand through the marathon of its life, steady, thoughtful,
and unmistakably true.